

## アルカザール

訳者：COQ

### <内容物>

- ・ ゲームボード 1
- ・ ルールサマリー 5
- ・ ルールブック 1
- ・ 建物カード（1～72の番号） 72
- ・ 塔カード 20
- ・ 公爵駒（5色：各色2個） 10
- ・ 男爵駒（5色：各色6個） 30
- ・ 建物駒 84
- ・ 橋駒 20
- ・ 紋章 8
- ・ 旗 8
- ・ お金（単位は“リール”：1リール×32、5リール×20、10リール×33、50リール×20、100リール×20）

### <ゲームの準備：付属のイラストを参考にして準備してください>

- ・ ゲームボードをテーブルの中央に広げます。
- ・ ゲームボードの隣に、建物駒・橋駒・紋章・旗を全て置きます。
- ・ 建物カードを全て合わせて裏にして良く混ぜ、以下のように配ります。
  - 各プレイヤーに10枚ずつ、他のプレイヤーに中身を知られないように配ります。
  - ゲームボードに表にして6枚のカードを配置します。
  - 残りの建物カードは山札としてゲームボードに配置します。
  - 塔カードを裏にして良く混ぜ、山札としてゲームボードに配置します。
  - 各プレイヤーは自分の担当する色を選び、その色の公爵駒2個、男爵駒6個、お金40リール、ルールサマリーを受け取ります。
  - 残りのお金はストックとし、プレイヤーのうち一人が銀行を担当します。

### <ゲームの目的・概略>

王様は他のどの城よりも力強く、そして豪華な城を要求しています。そこで王様は、貴族達に橋を備えた立派な城を建築するように命じました。王様は最も力強く、豪華な城に入城し、そこをアルカザール（王宮）にするつもりです。この王宮の建設に最も功績をあげた人物が“スペインの大公爵”となるのです！

プレイヤーは貴族を担当し、一族の力を使用して城を築きます。建設が進むたびに、

王様から報酬が支払われます。この報酬をさらに注ぎ込み、建築許可・橋の建設を進め、城での一族の位をさらに高めていくのです。プレイヤーは競争しながら 8 つまで城を築くことが出来ます。最も高い位に位置した貴族がゲームの勝者となります。

この目的を達するために、王様は各貴族に 10 枚の建物カードと限定的な建設許可を与えます。これに加え、プレイヤーはゲーム中さらに建物カードを手に入れることが出来ます。このカードを使用して、プレイヤーは邸宅や城の建設を進めることが出来るのです。塔カード手に入れて使用すれば、邸宅や城の階層を増やすことが出来ます。邸宅や城の価値は床面積と高さ、そして橋で決まります。邸宅や城は王様のものなので、建設が進むたびに王様からお金を受け取ることが出来ます。しかし、邸宅や城に公爵や男爵を配置するにはプレイヤーのお金が必要です。邸宅や城の価値が上がるに従い、このコストも高くなっていきます。従って、一族の邸宅や城への配置はそれらの価値が低いうちに行わなければなりません！

何が城で何が邸宅なのでしょう？城には旗が立っていて、最低 5 リールの城の価値を持っています。城の価値 (CV) は紋章によって城価値トラックに表示されています。城の基礎部分として、1 階には 3 つの城駒が必要です。

邸宅は、基礎部分に 1 つの城駒が必要で、旗も城価値トラックがありません。これらはゲーム中多数建設されます。しかし、計算を単純にする目的から、邸宅の価値も CV で表します。

邸宅の価値が 5CV となると、邸宅は城になります。この時、城になった邸宅は旗と城価値トラックを得ます。もしも、これらが他の城によって全て使用されていた場合、空くまでこの城には旗も城価値トラックも付与されません。もしも、幾つかの邸宅が城になる場合、手番のプレイヤーはどの城が旗と城価値トラックを得るのか、決定します。

城と邸宅の価値の計算方法はどのようなのでしょうか。これらの建物のうち、土台としてゲームボードと直接触れている建物駒一つにつき、1 の価値があります。2 階以上に建設されている建物一つにつき、2 の価値があります。(高さは関係ありません。下記のイラストでは、邸宅は価値 1、城は価値 5 (価値  $1 \times 3 +$  価値  $2 \times 1$ ) です。城の価値は城価値トラックに置かれた紋章によってすぐわかるようになっています。邸宅の価値は建設が進むたびに計算することになります。ゲームが進むと橋が建設されず (後述)。橋は建物の価値を高めます。橋は建設されている階層  $\times 3$  の価値を持っています。(2 階に建設されれば、 $3 \times 2 = 6$  の価値、3 階に建設されれば、 $3 \times 3 = 9$  の価値)

#### <ゲームの進め方>

各プレイヤーの手番は、二つのアクションのうちから一つを選んで実行することにより進みます。プレイヤーが手番を終えたら、左隣のプレイヤーの手番に移ります。

アクション 1：建物カードもしくは塔カードを買う。

これらのカードを手札に持っていることにより、プレイヤーは建物を建築することができます。建物カードは一枚 5 リール、塔カードは一枚 10 リールです。

- ・ 各建物カードはそれぞれ番号がつけられています。これらの番号はゲームボードのマスを示しています。
- ・ 建物カードの購入をするプレイヤーは、5 リールを銀行に支払い、表向けられているカードうち一枚もしくは、山札の一番上のカードを獲得します。表向けられているカードが買われた場合は、山札の一番上のカードを一枚表向け、直ちに補充します。従って、場には絶えず 6 枚の建物カードが表向けられていることとなります。このようにして手に入れた建物カードを使用することによって建物の一階部分を建築することが出来るようになります。
- ・ 塔カードを購入するプレイヤーは、10 リールを銀行に支払い、塔カードの山札の一番上のカードを一枚獲得します。このようにして手に入れた塔カードを使用することによって、建物の 2 階から 5 階までの部分を建築することが出来ます。

## アクション 2：建築する

プレイヤーはカードをプレイし、下記の 5 つのアクションのうちどれかを行うことが出来ます。

- A：城を建築する。
- B：邸宅を建築する。
- C：建物カードを使用して、城もしくは邸宅の増築をする。
- D：塔カードを使用して、城もしくは邸宅の増築をする。
- E：橋を建設する。

重要：建築後の邸宅もしくは城は一人のプレイヤーの持ち物になるわけではありません。各プレイヤーは各建築物に係わる事が出来ます。

### A) 城を建築する。

#### 建築条件

- ・ 既に存在している城から 3 マス以上の空きスペースが、邸宅から 1 マス以上の空きスペースが必要。
- ・ 城を建築するには、旗と対応する紋章が残っていなければなりません。これらが無い場合、他の 2 つの城が結合し、旗と紋章が使用可能になるまで待たなければなりません。

#### 建築する方法

- ・ 建物カードをプレイし、カードを捨て札とします。(捨て札となったカードはゲームに使用しなくなります)
- ・ 建物駒を 4 つ受け取り、2 つを重ねて建物カードに示されたマスに配置します。残り 2

つの建物駒を建物カードに示されたマスの右もしくは左に 2 つ重ねて置いたマスを含めて 3 つのマスが並ぶように配置します。(例：プレイヤーは建物カードの“8”をプレイしました。この場合、3 種類の配置の仕方があります→イラスト参照)

- ・ プレイヤーはストックに残っている好きな旗を建築した建物の一番高いところに立て、対応する紋章を城価値トラックの 5 のマスに配置します。
- ・ 建築をしたプレイヤーは銀行から CV の分だけお金を受け取ります。(5 リール受け取ります)

#### 貴族の配置 (任意アクション)

自分の一族を城もしくは邸宅に配置することが出来ます。(各建物において、最も高い場所に配置された貴族の属する一族がその建物の勝者となります。しかし、貴族を配置することが余り遅くなることもお勧めしません。なぜなら、早く貴族を配置すればコストが安く済むからです。)

貴族を配置する場合は以下のルールに従います。

- ・ 貴族は手番に配置した建物駒の上のみ配置できます。
- ・ 城建設後、一つもしくは二つの貴族を配置することが出来ます。
- ・ 邸宅の建設、城/邸宅の増築では、配置できる貴族は一つだけです。
- ・ 貴族の配置コスト
  - 男爵：CV と同じ値段を銀行に支払う
  - 公爵：CV の倍の値段を銀行に支払う
- ・ 一つの建物駒の上には一つの貴族駒しか配置することは出来ません。
- ・ 城や大きな邸宅では一つの建物に複数のプレイヤーの貴族駒が配置される状況があります。

(イラスト)

右寄り配置

左寄り配置

中央配置

城が建設され、プレイヤーは 5 リールを受け取ります。

城建設後、赤のプレイヤーは公爵と男爵を一つずつ配置しました。プレイヤーは公爵の配置に 10 リール (CV の倍額)、男爵の配置に 5 リール (CV と同額) を支払います。駒はどこにでも配置できますが、一番高いところに配置するのが得策でしょう。高い位置に居る貴族ほどゲームの最後に有利ですから！

## B) 邸宅の建設

建築する方法

邸宅を建築するプレイヤーは建物カードを 1 枚プレイし、捨て札とします。プレイヤーは建物駒を一つ受け取り、プレイした建物カードに示されたマスに配置します。

- ・ 邸宅は他の建物（城や他の邸宅）と少なくとも1マス以上離れていないと建設することが出来ません。
  - ・ 建築を行ったプレイヤーは報酬として、CVと同額のお金を受け取ります。（建築直後の邸宅の価値は1階に1マス分の駒があるだけですので、1リールとなるでしょう）
- 建築後、プレイヤーは貴族駒を配置することが出来ます。

### C) 建物カードを使用した城/邸宅の増築

既に存在している邸宅もしくは城の増築はどのプレイヤーも行うことが出来ます。増築は非常に効率的にお金を稼ぐことの出来る手段です。報酬は、CVに応じて支払われるのですから。

- ・ プレイヤーは、増築した城もしくは邸宅に隣合う、空き地を示す番号の建築カードをプレイし、捨て札とします。
- ・ 建物駒を一つ、建物カードに示されたマスに配置します。
- ・ 建物価値トラックの紋章を一つ進めます。（邸宅の増築の場合は、この作業はありません）
- ・ 増築を行ったプレイヤーは CV と同額のお金を銀行から受け取ります。邸宅の場合は、CV の計算が必要です。

増築後、プレイヤーは貴族駒を配置することが出来ます。

重要：増築の際、各建物間の空き地スペースのルールは適用されません。従って、城と邸宅は結合される場合があります。（後述）

建設カードによって階層が増える場合。

- ・ 建設カードをプレイした際、建設カードの示すマスに既に建物か橋が存在していた場合、そのマスが一番上に建物駒を配置することが出来ます。
- ・ 建物カードによる階層の増加には限界がありません。（塔カードによる改装の増加には5階までという制限があります。）
- ・ もしも、自分の貴族がそのマスが一番上に配置されていた場合、建物駒は自分の貴族駒の下に配置することが出来ます。
- ・ もしも、他人の貴族がそのマスが一番上に配置されていた場合、貴族駒を取り除き、持ち主に返すことが出来ます。

（イラスト）

プレイヤーは建物カードの“6”をプレイし、邸宅を建設しました。報酬として、1リールを受け取ります。

赤プレイヤーは手番に建設した邸宅に1リール支払って男爵を配置しました。

城増築の例：青プレイヤーは建物カードの“11”をプレイし、建物駒を“11”のマスに配置し、城価値トラックの紋章を5から6に進め、6リールの報酬を得ました。

青プレイヤーは建物カードの“11”をプレイして白を増築した後、6リール支払って男爵を

配置しました。

赤プレイヤーは建物カードの“8”をプレイして白を建設しましたが、建物カードの“10”は持っていませんでした。ここで、緑プレイヤーが建物カードの“10”をプレイし、建物駒を“10”のマスのマスに配置しました。緑プレイヤーは城価値トラックの紋章を2進め、8リールの報酬を得ました。この手番で、緑プレイヤーは8リール支払って男爵駒もしくは16リール支払って公爵駒を“10”のマスのマスに配置することが出来ます。

- ・ 城価値トラックの紋章は価値の上昇に従って移動させます。階層が増える場合には（階層に関係なく）城の価値は2増えます。
- ・ 報酬を受け取る：増築後、CVと同額の報酬を銀行から受け取ります。
- ・ 増築したマスに自分の貴族が居なかった場合、配置した建物駒に貴族を配置することが出来ます。また、既に配置済みの貴族を移動させることも出来ます。（後述）

#### D) 塔カードによる建物の増築

塔カードには番号がありません。従って、塔カードは好きな場所の階層の増築に使用できます。塔カードで増築できる階層は5階までです。6階は建物カードによる増築の時のみ建設されます。

ヒント：塔カードは以下のような目的のために使用されます。

- ・ 自分の貴族を高い位置に移動させるため。
- ・ 橋の建設準備

貴族を高い位置に移動させる

- ・ プレイヤーは塔カードをプレイし、捨て札とします。建物駒を一つ、自分の貴族の下に配置します。
- ・ 増築により上昇した分だけ、城価値トラックの紋章を進めます。（階層が増えた場合は何階かに係わらず、価値は2増えます。）
- ・ CVと同額の報酬を銀行から得ます。

橋の建築準備

橋を建設できるようにするため、同じ高さに2箇所の建物駒が隙間を1マス空けて必要です。また、橋の建設予定建物駒の両方もしくは片方に自分の貴族駒が配置されている必要があります。もしも、片方にのみ自分の貴族駒が配置されている場合は、もう一方は誰の貴族も配置されていない状態でなければなりません。さらに橋の土台はその他の部分よりも高くなくてはなりません。橋の土台となる建物駒は数ターンに渡って塔カードがプレイされることによって準備されることになるでしょう。

重要：塔カードを使用して貴族駒が配置されていないマスの階層を増やすには、（後ほど本当に橋が建築されるかどうかは別として）そのマスが橋の建築予定地であることが必須です。つまり、1マス隔てた建物駒のさらに高い階層に自分の貴族が配置された状態であることが必要です！

## 貴族の配置

手番の最後に、配置した建物駒の上に自分の貴族駒を配置することができます。駒を配置する代わりに、同じ城に配置されている貴族を移動させるかもしくは、2つの貴族駒を交換することができます。

(イラスト)

赤プレイヤーは塔カードをプレイしました。これにより、“6”、“8”もしくは“9”に建物駒を配置することができます。赤プレイヤーは“6”に建物駒を配置し、2階層とすることに決めました。増築した邸宅の価値は1から3になりました。赤プレイヤーは報酬として3リールを銀行から得ます。赤は“6”と“8”の間に橋を建築しようと思ったのです。

1マス隔てた場所に2箇所の同じ高さの建物駒がある状態を橋建設予定地と呼びます。この場合、“39”に塔カードを使用して橋建設準備を進められるのは赤プレイヤーのみです。このイラストでは、塔カードを使用しても、だれも建物駒を配置することが出来ません。どこに配置しても橋の建設準備にならないからです。

(イラスト)

赤プレイヤーの手番で、プレイヤーは15リールを支払って“1”と“3”の間に橋を建設しました。赤プレイヤーの既に配置していた貴族のうち、“1”のマスに配置されていた貴族駒のみが上の階層に移動します。

“1”と“3”の間に橋を建設することは出来ません。橋の土台となる建物が別のプレイヤーによって占拠されているからです。

橋の土台が他の位置よりも高くないので、橋の建設は許可されません。

まったく同じ軸で橋の上に橋を建設することは出来ません。

土台がまったく同じマスでなければ、橋の上に橋を建設することができます。

価値50の城：城の最大価値は50リールです。紋章も50以上の価値を示すことはありません。城の増築は価値を超えてもすることが出来ますが、増築後に得る報酬は最大で50リールです。

## E) 橋の建設

橋の建設は城の価値を大いに高めます。橋は対岸の道に対しても建設することができます。(この場合、橋の土台同士の間にはマスはないことになります。)従って、隣り合っていない道を隔てた城同士も結合されることがあります。

橋を建設するプレイヤーは以下のようなアクションを行います。

- ・ 橋の建設費として15リールを銀行に支払う。
- ・ ストックより橋の駒を受け取り、直ちに建設を行う。

- ・ もしも、橋を建設することによって城の結合が起こったなら、後述の“結合”を参照。
- ・ 橋を建設した城の CV を計算する。：橋の価値は存在している階層の 3 倍となります。2 階層にあれば 6 リール、3 階層にあれば 9 リールです。
- ・ 報酬を受け取る。城の価値の分だけ銀行から報酬を受け取ります。
- ・ 城の建設には、建物カードも塔カードも必要ありません。

#### 貴族の配置

- ・ 橋の土台にいた自分の貴族駒は橋の上に移動させます。(位置は同じです)
- ・ もしも、橋の中央部の一つ下の階層に自分の貴族駒が配置されていた場合は、橋の中央に移動させます。
- ・ もしも、橋の中央部の一つ下の階層に他人の貴族駒が配置されていた場合は、駒を取り除き、持ち主に返却します。(“駒の返却”参照)
- ・ これらとは別に、橋を建設したプレイヤーは橋の上の 3 マスのうち 1 マスに貴族駒を一つ配置もしくは移動/交換して配置することが出来ます。

#### 橋建設の条件：

- ・ 橋を建設しようとするプレイヤーの貴族駒が最低限、橋の土台となるマスのどちらか一方には配置されていなければならない。また、貴族が配置されていないほうの土台は他のプレイヤーの貴族が配置されてはならない。
- ・ 橋は同じ高さの、1 マス間を開けた土台 2 箇所を渡ってのみ建設される。従って、橋は 2 階層以上にしか建設されない。
- ・ 橋を支える土台は、土台同士の間マスよりも最低一階層は高くなければならぬ。
- ・ まったく同じ土台のマスを使用して橋を 2 つ建設することは出来ない。(橋は上下に完全に重なるようには建設できない)
- ・ まったく同じ土台のマスを使用しなければ、橋の上に橋を建設することは可能である。
- ・ 橋はマスに沿ってだけでなく、道と道の間を越えて建設することが出来る。(例：“7”のマスと“17”のマスに渡って橋を建設することが出来る。)

#### 結合

建物と建物の隙間が 1 マスとなっている場合に、そのマスに対応する建物カードをプレイするもしくは、橋の建設を行って 2 つの建物を融合すると建物同士が結合します。この場合、最初に建設のルールが適用され、その後“結合”のルールが適用されます。結合は、城と城、城と邸宅、邸宅と邸宅の間で起こります。

#### 2つの城を結合：

- ・ 橋の建設や建物カードで城と城を融合させた場合に発生します。



- ・ 結合を行ったプレイヤーは、結合を起こした建設により、どちらの城の価値が上昇するかを決定し、計算を行います。
- ・ 計算後、価値の高い方の城が残ります。もしも城の価値が同額の場合、結合を行ったプレイヤーが残す城を決定します。
- ・ 残ったほうの城は、吸収された城の分だけ価値を増します。(紋章を進めます)
- ・ 吸収された城の紋章と旗は、ストックに返し、他の城の建設に使用可能となります。
- ・ 結合を行ったプレイヤーは残った城の分だけ報酬を受け取ります。
- ・ 城に配置されていた貴族はどちらの城のものもそのまま残ります。

城と邸宅の結合：

- ・ 橋の建設や建物カードで城と邸宅を融合させた場合に発生します。
- ・ 結合を起こした建設は城に帰属します。邸宅は城に吸収され、邸宅の価値の分だけ城の価値が増します。(紋章を進めます)

(イラスト)

建設カードの“7”をプレイするか、“6”と“8”の間に橋を建設すると、結合が起こります。このイラストでは、城と邸宅の結合が起こることになります。邸宅は城に吸収されます。小さい建物は大きな建物に吸収されるのです。

橋の建設はとても価値があります：橋の価値は3階層×3で9リールです。赤プレイヤーは橋の建設によって結合を行いました。この結合の後、赤プレイヤーは結合後の城の価値だけ報酬を得ます。このイラストでは、20リールです。報酬獲得後、橋の建設のルールに従って、プレイヤーはお金を支払って貴族を配置するか、ただで貴族を移動/交換することが出来ます。

重要：もしも、城と城が結合し、価値が50を超えてしまう場合、結合を行うことは出来ません。二つの城を繋ぐ橋の建設は許されないのです。もしも、二つの城を繋ぐ建設カードがプレイされた場合には、建物は建設されず、建物駒を一つゲームから取り除きます。ただし、建設カードをプレイヤーは50リールを得ることが出来ます。

ヒント：上述の通り、結合後にお金を払って貴族を配置することが出来ますが、コストがとても高くなることでしょう。

(イラスト)

貴族の移動：赤プレイヤーは橋を建設しました。これで城の価値は17となりました。赤プレイヤーは17リールを銀行から受け取ります。赤プレイヤーは“3”のマスに男爵を一つ配置しようと考えました。これには17リールかかってしまいます。そこで、“4”のマスにいる公爵を“3”のマスに移動させることにしたのです。移動にコストはかかりません。赤

プレイヤーの公爵は配置された階層が上昇することによって、ゲーム終了時 6 ポイントを稼ぐことになります。また、この時、赤プレイヤーは男爵と公爵の位置を入れ替えることも出来ます。

貴族の除去：黄色プレイヤーは“7”と“9”の間に橋を建設しました。白色プレイヤーの男爵は取り除かれ、白色プレイヤーに返却されます。この白の橋建設前の価値は 8 リールですので、白プレイヤーはお見舞い金として 8 リールを銀行から受け取ります。

- ・ 城と邸宅の結合は価値が 50 リールを越えても行うことが出来ます。ただし、紋章は 50 以上には進みません。(実際の価値は 50 以上にはなりません)
- ・ 報酬の獲得：結合を行ったプレイヤーは城の価値の分だけ報酬を受け取ります。
- ・ 全ての貴族は城に帰属します。(邸宅に配置されていた貴族の価値は上昇することでしょう！)

邸宅同士の結合：

- ・ 橋の建設や建物カードで邸宅と邸宅を融合させた場合に発生します。
- ・ 報酬の獲得：結合を行ったプレイヤーは邸宅の価値の分だけ報酬を受け取ります。

もしも、貴族が配置されていた場合、貴族はそのままの場所に配置され続けます。

- ・ もしも、価値が 5 リールを越えた場合には、邸宅は城となります。旗と紋章を獲得します。もしも、旗と紋章がストックに無い場合、空きがでるまで、結合後の邸宅は“特別大きな邸宅”として扱われます。
- ・ 邸宅が橋で結合された場合も、城になります。

貴族駒の回収 (任意アクション)

各プレイヤーは自分の手番に既に配置されている自分の貴族駒を一つ手元に戻すことが出来ます。このアクションを行う場合は、手番の最初に行います。このアクションはプレイヤーが緊急にお金を必要とする場合、もしくはさらに良い配置場所を見つけた場合に有用です。回収を行うプレイヤーは自分の貴族駒を一つ手元に戻し、男爵の場合は配置されていた城の CV と同額を公爵の場合は配置されていた城の CV の倍額を銀行から得ます。

貴族の移動

新しい貴族駒を配置する代わりに、既に配置されている自分の貴族駒をタダで移動させることが出来ます。この場合、手番で建設したマスと同じ建物の他のマスに配置されていた自分の貴族を移動させます。他の建物から貴族を移動させることは出来ません。

貴族の交換

新しい貴族駒を配置する代わりに、既にその建物に配置されている自分の貴族駒同士の位

置を交換することが出来ます。交換は、公爵をさらに高い階層に移動させるのに役立ちます。

#### 貴族駒の除去

他のプレイヤーの貴族駒は下記のような2つのケースによって除去することが出来ます。

- ・ “建物カードを使用した城/邸宅の増築”の項で説明したように、建設カードによる建設が行われたマスに配置されていた場合。
- ・ 橋が建設された際、橋の下の階層の中央に配置されていた場合。

もしも、他のプレイヤーの貴族駒を除去した場合、駒は元の持ち主の手元に戻ります。また、取り除かれたプレイヤーはルールに従ってお見舞い金を銀行から得ます。(お見舞い金はプレイヤーが自主的に自分の貴族駒を取り除いた場合と一緒に) この場合、最初に貴族駒の除去を行い、お見舞い金を支払った後、建設その他の行動が解決されます。

#### 手番のパスアクション

基本的にプレイヤーは自分の手番でアクションを行わなければなりません。(カードの購入か建設) もしも、プレイヤーがカードを一枚も持っておらず、カードを購入するお金も無い場合は貴族駒を取り除いてお金を稼ぎ、アクションを行う必要があります。もしも、どのような方法を使用してもアクションが行えなくなったり、購入できるカードが無くなった場合はそのプレイヤーは最終得点計算まで手番をパスすることになります。このようなことを回避するため、プレイヤーはゲーム中、山札の枚数に気をつけ購入を狙ったほうがよいでしょう。パスをしなければならないような状態に陥った時は橋の建設が行えないかどうか、調べてみてください。

#### ゲームの終了

最後の建設が行われた場合、(建設カードもしくは橋の建設によって)最後の建設を行ったプレイヤーの手番終了時にゲームは終了します。直ちに最終得点計算を行います。

各プレイヤーは配置された貴族駒と所持金によって得点を得ます。

貴族駒の配置されている階層が重要です。

- ・ 公爵は配置されている階層の倍のポイントを稼ぎます。
- ・ 男爵は配置されている階層と同じポイントを稼ぎます。

例：5階層に配置されている公爵＝10点、4階層に配置されている男爵＝4点

#### 所持金 50 リールにつき 1 点

最もポイントの多いプレイヤーが勝利します。

最終得点計算：各プレイヤーは自分の公爵駒のうち一つを城価値トラックに置くことによ

って得点を計算するとよいでしょう。もっとも公爵駒を進めることの出来たプレイヤーの勝利です。もしも、同点の場合は手元に残った（勝利点分は差し引いた）所持金の多いプレイヤーの勝利となります！